

風早北部 防犯情報 しょうなん

行動無くして結果生まれず

SHOW "No Action No-result"



依然として多い車両盗難事件

特に上位4車種いずれかをお持ちのかたは警戒しましょう。またトヨタ車のほか軽トラも狙われています。

警察庁公表の2024年の自動車盗難事件(警察が認知している事案)で、車種別で最も被害に遭っているのが「ランドクルーザー」で1,064台を記録、2位以下も「レクサスLX(230台)」、「ハイエース(170台)」そして「レクサスRX(165台)」とトヨタ車が続きました。そのあとは、ダイハツハイゼットやスズキキャリーといった軽トラック、そして、トヨタクラウン、レクサスLSの順となっています。



トヨタ車は高級で高品質なイメージが国際的にも浸透し、海外ではたとえ中古車でもかなり高額で売買されています。日本の軽トラックも、燃費がいいことで海外でも好まれており、当地域内では、農作業でご利用の方は、鍵を車両に付けっぱなしのままでの農作業は絶対に避けましょう。

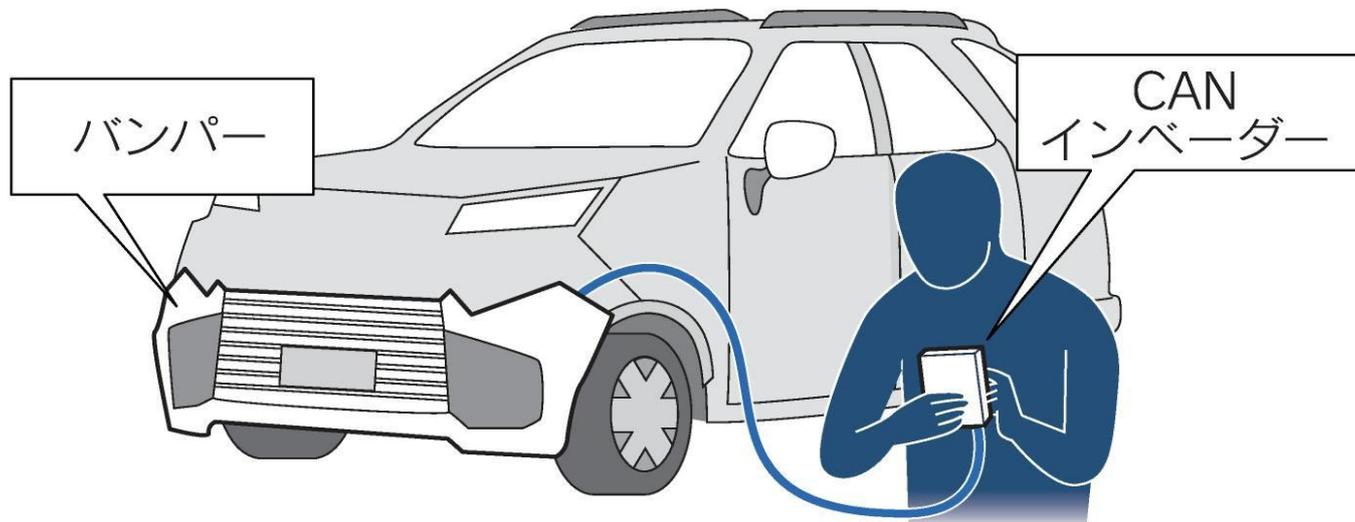
最近の盗難方法はハイテク化が進み、イモビライザー壊し、リレーアタックなどは、その対策が講じられています。しかし、**CANインベーター**という、車両の一部であるCAN※に不正な信号を送り、持ち主以外の者が容易に車両ドアの開放やエンジンを始動させてしまいます。これが数分で行えて

※Controller Area Networkの略称。

前頁に掲名されていない車種でも、日本製車両はエンジンなど内燃機関部品もかなりの高値で海外に密輸されています。自分の家の車も狙われているかも・・・との日頃の警戒感や対策を講じることが何よりです。

しまうことで、対策はアナログになりますが、ハンドルロック・タイヤロックをおすすめします。CANインバーダーの仕組みは下図を参照願います。

CANインバーダーによる自動車盗のイメージ



- ① バンパーをずらし内部の配線と機器をケーブルで接続
- ② 制御システムに不正な信号を送りドア解錠・エンジン始動
- ③ 車に乗り込んで逃走

数分で犯行完了

犯行の時間・手間を増やす対策

- 信号の遮断や制御ができる後付けのセキュリティー部品
- ハンドルやタイヤの固定装置 など

おもな対策は以下のとおりです

